

礼儀作法は心の美德・お茶教室

11月20日（木）、水元中央小学校（下山新市校長）で、学区内で中野社中を主宰する中野京子さん（表千家弘前支部教授会所属）がボランティアで講師を務め、同校のクッキングクラブに所属する9人が参加して「お茶教室」が開かれました。

このお茶教室は、旧妙堂崎小学校のクラブ活動の時間から行われていて、新校舎の水元中央小学校になってからもクラブ活動の中に取り入れられ、年3回、校内のお茶室を使用して行われています。今年で今年度最後の教室となり、児童たちは、今まで先生から学んだことを一つずつ復習しながら、礼儀作法をしっかりと学んでいました。そして、みんなで大好きな抹茶とお菓子を味わって、今年度の教室が終了しました。



△茶道の礼儀作法は、自分の心を磨きます。



12/1水中央小「リンゴーかご運動」

11/27 花田正逸氏、文部科学大臣表彰受章

11/14「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画コンクール表彰式



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線263)

国際交流員初体験！防犯もちつき大会

11月21日（金）、梅沢小学校（芦田由紀子校長）で、梅沢地区防犯協会・梅沢小学校PTA主催の「防犯もちつき大会」が行われ、全校児童と地区のみなさんがいっしょになって、今年無事に学校田でお米が収穫できた喜びを分かち合いました。

今年のもちつき大会には、鶴田町国際交流員のローラ・スタンリーさんとカレン・イートンさんも参加して、大会を盛り上げていました。2人とも日本の風習や伝統文化にとっても関心があり、みんなで行うもちつきをとっても楽しんでいる様子でした。つき終わると、防犯協会婦人部やPTAの方々が調理してくれたお雑煮、お汁粉、きな粉もちをみんなで味わい大会が終了しました。国際交流員の2人も自分でついたおもちが格別においしかったことでしょう。



△お父さんともちつきをする児童と国際交流員の2人

原燃リサイクル意見交換会 女優萩尾みどりさんが講演

11月14日（金）、国際交流会館において、青森県主催「原子燃料サイクル意見交換会」が開催されました。

町民との意見交換会の前に、女優 萩尾みどりさんによる「身近なことから考えよう～エネルギーと環境～」をテーマにした特別講演が行われました。女優という職業について自らのエピソードをふんだんに交えながら、原燃サイクルのPR番組で司会を務めたことをきっかけに自然環境やエネルギーリサイクルについて興味を持ち始めたことや、これからの日本のエネルギーがどう変わっていくのかを町民に分かりやすく説明していました。



△「3、2、1、0ロケット発射！」と実験を楽しむ児童

夢は宇宙へ！ロケットを飛ばせ

12月2日（火）、鶴田小学校（尾崎美津郎校長）で、宇宙航空研究開発機構（JAXA）職員の中村全弘さんと宮原有香さんを講師に招き、5年生と6年生を対象に宇宙をテーマにした学習会が開かれました。

まず、中村先生から「宇宙ってどんなところ」というテーマで、実験を交えながら、宇宙空間についてのお話があり、そのあと全員で細長いビニール袋を使ったロケットづくりを行い、実際に飛ばしてみました。



△工作で作ったロケット

最後に、アルコールを燃料にした「ミニロケット発射」の実験では、発射台から勢い良く飛ぶロケットに全員夢中になっていました。

菖小キッズ・シェフから食の心を学ぶ

12月1日（月）、菖蒲川小学校（川浪定雄校長）で菖蒲川学校支援地域協議会（三浦広伸会長）が主催する「第2回キッズ・シェフ」が開催され、6年生13人が地産地消の本格料理に挑みました。

昨年に引き続き、「レストラン山崎」（弘前市親方町）の山崎 隆シェフを講師に招き、始めにシェフからの「味覚の授業」が行われ、既製品の味とは違う、手づくりの味の大切さや、おいしくて安心して食べれることにこだわったリンゴや豚肉の生産者のお話を児童たちに教えていました。また、調理実習では、子どもたちが地産地消をキーワードに考えた3つのレシピ ①鶴田の美味しいクリームスープ ②リンゴのポークソテー ③リンゴのおうち（デザート）を、シェフの指導のもと、料理にチャレンジしていました。



△山崎シェフからは、手づくり料理の大切さを学んだ